



Title	癌と人 第23号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 1996, 23
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/23948">https://hdl.handle.net/11094/23948</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## ◎題字◎

財団法人 大阪癌研究会  
理事長 千代賢治



\*表紙絵解説

### 「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのほる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスと言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

## 第23号 目次

• ごあいさつ.....	1
千代 賢治	
• 年頭所感.....	3
田口 鐵男	
• 癌・成人病対策と母子保健.....	5
松本 圭史	
• これほど違う最新の人間ドック『総合・がん健診』.....	8
藤田 昌英	
• 外国語の片仮名表記—偶感.....	12
古江 尚	
• いまなぜターミナルケアか—尊厳死運動からみて.....	14
太田 和雄	
• 血液がんの治療はここまで進んでいる.....	17
木谷 照夫	
• X線発見100周年を迎えて .....	20
小塙 隆弘	
• 卵巣ガンをどう克服するかが今一番難しい問題である.....	23
奥平 吉雄	
• 癌と人.....	27
栗村 敬	
• 粒子線治療.....	30
井上 俊彦	
• リンパ球の生存と死滅.....	33
木本 雅夫	
• 我、癌研究—培養細胞株との長きお付き合い—	35
久保田 優	
• プリン体生合成の酵素遺伝子と抗癌剤.....	37
板倉 光夫	
• がんとレチノイン酸.....	40
瀧原 義宏	
• 血管新生の抑制による癌の治療の研究.....	41
寺田 信行	
• 研究助成をお受けして.....	43
佐藤 靖史	
• 子どものがん神経芽腫の謎に魅せられて.....	44
松村 隆文	
• 胃癌と酪酸ナトリウム.....	47
加藤 淳二	
• 胸腺外で分化するT細胞と癌.....	48
安保 徹	
• バイスペシフィック(BS)抗体の完成 .....	50
新田 泰三	
• 癌に対する免疫療法のリアリティ .....	52
西村 泰治	
• 動物発癌実験のいま .....	55
近藤 玄	
• 放射線と細胞死 .....	56
三橋 紀夫	
• Ph.D の癌研究事始め .....	58
関口 清俊	
• 平成7年度事業報告.....	大阪癌研究会
60	
• 財団法人大阪癌研究会寄附行為.....	62
• (財)大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿...	65
• 平成7年度寄附者御芳名.....	70